



お お せ ど つ う し ん
大世渡通信

第11号
【2020年6月】

〒734-0014 広島市南区宇品西2丁目6-27-6 Tel.082-250-8883 Fax.082-255-0006

■■この大世渡通信は私たちとご縁のあった方、ご縁をいただきたい方に差し上げている月一通信です■■

◆仕事のやりがい◆

こんにちは！中国地方の屋内外サインを自社一貫制作体制で承っております、広島市南区、株式会社日本彫刻工芸、代表取締役の大世渡（おおせど）英和です。大世渡通信第11号をお送りいたします。よろしくお願いいたします。

さて、以前、大世渡通信第4号で、妻の父方の実家がある呉市蒲刈町で、義理の兄といっしょにレモンを育てていますと書かせていただきましたが、この5月で収穫が一段落しましたので、その畑を始めた経緯や、実際にやってみて感じたことなどを書かせていただきます。

呉市蒲刈町という場所では、昔からミカンなどの柑橘類が育てられていました。ところが、妻の両親含め、近隣の農家さんたちの高齢化で、畑の半分以上が山にかえってしまったと聞きました。「このままだとさみしいよね」と、私と私の義理の兄で、引き継ごうという話になり、昨年7月に法人化。大世渡商会という名の会社を作り、本格的にスタートしました。

作業内容は、草刈りに水まき、それから肥料をまいたり、とにかく肉体労働です。畑は広く、水まきだけでも、川からポンプで水を引き、ホースの長さは30～50m。大人6人で半日掛かりです。真冬でも大汗をかくほど体を動かします。9月からは収穫も始まり、レモン、デコポン、はっさく、甘夏などなど、家族総出で収穫していました。行くときは毎週のように行っていました。

春にはレモンの苗木を120本と、花粉症に効くと言われているじゃばらの苗木を30本新たに植え、自分の子を育てるように、心を込めて世話をしていきました。収穫できる喜び、消費者の方々に喜ばれたときの嬉しさは、本当に大きいのですが、それは、苦勞が多いことの裏返しでもあります。できるかぎり農業は使わない方針のため、害虫にもやられます。また、せっかく植えた苗木が、翌週見に行くと、3分の1が猪に掘り返されダメになっていたり、心が折れそうにもなるのですが、だからこそ、最後の喜びが大きいのだと思います。

どんな仕事でも、その“やりがい”というのは、こういった苦勞が多いところでこそ生まれるのだと、収穫が一段落し、ふと思いました。



◆編集後記◆

今回もまた、最後までお読みいただきどうもありがとうございます！さて、畑だけでなく、もちろん、本業も頑張っております！私たちの仕事は、例年、3月までが忙しく、4月5月と時間ができません。今年はコロナで（会合等なくなり）例年よりさらに時間ができた分、私は、たくさんのお客様やお取引先様に電話を掛けることができました。すると、掛けた件数が多かった分、それに比例して、収穫（お仕事）が例年よりたくさんありました。これからも、本業をしっかりと頑張っていきます！

■■大世渡通信はいらぬよという方は、大変お手数ですが082-250-8883までご連絡いただければと思います■■

【発行者プロフィール】

■名前:大世渡 英和(おおせど ひでかず) ■生年月日:1979年1月18日 ■血液型:O型
■出身地:広島県呉市 ■趣味:料理(食べ飲み歩きも好きです)、音楽(レコードを聴きます)、キャンプ、スノーボード ■家族構成:好奇心旺盛な私、高校時代から交際していた妻、誰に似たか秀才の息子(10歳)、超わがまま娘(8歳)

【発行元】株式会社日本彫刻工芸 本社工場 〒734-0014 広島市南区宇品西2丁目6-27-6

Tel.082-250-8883 Fax.082-255-0006 Email:h-ohsedo@niccho.main.jp

